

令和4年度
動物愛護週間中央行事

2022 あいご どうぶつ愛護
オンラインシンポジウム
令和4年9月24日(土)

テーマ

こ おとな いっしょ かんが わたし どうぶつ
「子どもも大人も一緒に考えよう、私たちと動物」

毎年9月20日から26日は、「動物の愛護及び管理に関する法律」第4条で定められた動物愛護週間です。動物への理解と関心を深めることを目的に、今年も「どうぶつ愛護シンポジウム」が開催されます。



詳しくはこちら 
実行委員会ホームページ



時間

13:00～13:20 どうぶつあいごひょうしょうさくひんしょうかい 動物愛護表彰作品の紹介

13:25～16:00 こうえん 講演とディスカッション

※時間は予定です

配信

令和4年9月24日(土)13:00～16:10

はいしんよてい
YouTubeで配信予定

<https://www.youtube.com/watch?v=7Jxyy2j8PWk>
(台東区生涯学習センターミレニアムホールより)



講演者

① どうぶつ おし たいせつ 「動物たちが教えてくれる大切なこと」

奈良県うだ・アニマルパーク振興室 副主幹
奈良県中和保健所動物愛護センター 副主幹 藤井敬子 氏

② きょうしつ なか そだ 「モルモットを教室の中で育ててみた」

文京学院大学人間学部児童発達学科 特任教授 森田和良 氏

主催：動物愛護週間中央行事実行委員会

講演者

→ 藤井 敬子(ふじい けいこ)

奈良県うだ・アニマルパーク振興室 副主幹
奈良県中和保健所動物愛護センター 副主幹

プロフィール

奈良県うだ・アニマルパーク振興室/獣医師
1988年北里大学大学院獣医学専攻修了
同年 奈良県庁入庁
1992年より保健所で狂犬病予防及び
動物愛護管理業務を担当

2010年より動物愛護センター業務を担当
2012年よりうだ・アニマルパーク振興室勤務
2014年より保健所で狂犬病予防及び
動物愛護管理業務担当を経て2022年より現職



講演タイトル「動物たちが教えてくれる大切なこと」

これまで長い間、子どもと動物との関係は、動物とのふれあいを中心とした関わりにより、動物愛護思想を普及啓発することで、動物のいのちを始め、全ての命を大切にすることを育むことができてきました。しかし、ふれあいだけでは共感はありません。動物への正しい対処を伝える動物福祉の考え方を子どもたちに伝えることこそが、他者への共感、感情移入できる感性を育て、命を大切にすることに繋がると考えました。

そこで、奈良県うだ・アニマルパークでは、取り扱う全ての動物に対して動物福祉の考え方を具現化することを目指し、命と真摯に向き合う姿を通して命の大切さを伝えること、また生きた動物を使わない「はりこの動物プログラム」などの教育プログラムを使用して動物福祉を子どもたちにもわかる優しい言葉で伝える取り組みを行っています。



→ 森田 和良(もりた かずよし)

文京学院大学人間学部児童発達学科 特任教授

プロフィール

埼玉県草加市生まれ
埼玉大学教育学部卒業後、埼玉県の公立小学校、筑波大学附属小学校などを経て、現在、文京学院大学人間学部児童発達学科特任教授。専門は、初等理科教育、生活科教育、総合学習。

- ・元筑波大学附属小学校 副校長
- ・元日本初等理科教育研究会 理事長
- ・日本教育心理学会会員
- ・小学校理科教科書、生活科教科書(学校図書)執筆者
- ・文部科学省や国立教育政策研究所の各種委員(理科教育)を歴任

単著

- ・森田和良の理科教材研究ノート(学事出版)平成24年
- ・科学的読解力を育てる説明活動のレパートリー(学事出版)平成19年
- ・「わかったつもり」に自ら気づく科学的な説明活動(学事出版)
- ・教科書を豊かに発展させる授業 理科(学事出版)



講演タイトル「モルモットを教室の中で育ててみた」

筑波大学附属小学校で担任をしていた学級で、子どもたちがモルモットを飼育する活動に取り組みました。日々の学校生活の中で常に動物の存在が意識できるように、敢えて教室の中で飼育することにしました。飼育活動を行う中では、様々な出来事やトラブル、問題などが起きました。それらに対して子どもたちは、かわいがっているモルモットのためを考え、いろいろと対策を実行したり家族と相談したりして、問題解決に向けて努力しました。それらの活動を通して、子どもたちの成長する姿もみる事ができたのです。そのような事例の一部を、当時の写真とともに紹介します。

